

## 檜町役員説明会 会議録

平成27年10月31日 午後 時～ 時 分

市側出席者：市長、川口参与、上田所長、井上課長、山下係長

### 市長説明

檜 町：建設予定地の地図を見ますと、白川池に近い方にごみ焼却施設、そしてシャープに近い方の南から名阪国道の側道の所がリサイクル施設という事で、立方体の立派な建物を建てるのは、こちらの南側の方がいいように思うんですが、もし公害の心配全然ないという事であれば、南にごみ処理センター、白川池の近くにリサイクルセンターというのは不可能ですか。

天理市：そこは、まだ引いている最中なのでお配り出来ませんが、概ね建物自体の大きさは変わらないが、その周りに停めておく車の回しがありまして、運用面ではこちらの方で考えています。当初考えさせて頂いた場所として、計画を進めておりますので、不可能という事はないと思います。ただ、今の時点でそういう事は不可能に近いです。

檜 町：市長さん先程の話を聞いていたら、コスト高くなる、予算が高くなると話されていたけど、山間の方へ行ったら、この岩屋の方へ行ったら土地ある。もし1,000円とすれば、山間だったら10円位、土地の値段。山間へ行ったらコストも安く出来ます。何でそういう所へ行かないのか。

天理市：年間の運搬費が1億程変わってきます。

檜 町：運搬経費と言うけども、樺本インターから福住まで10分で行ける。そして名阪通ったら大型トラックで行ける。

天理市：他から来る車はみんな10t車で来る訳です。天理のパッカー車は10tで集めていませんから、これを・・・。

檜 町：運賃高くつくというけど、山間へ行く程大きい道通るし。

天理市：この前もパッカー車が通っていると思いますが、ここを通った車が大きな車に乗せ換えるとしたら、そこで積替施設造らないといけないと、大きな車に乗せ換えられない。

檜 町：それは、コスト安くしようと思ったら色々考えられるけど、土地代から考えたら山間へ行った方が安い。

天理市：ここ自体が、それ程大きくない地代という鑑定が・・・。

檜 町：前に話聞いたけど、天理教の土地が13,000㎡、ここで全部リサイクル施設も出来るという話でした。他はいらないという話だった。どうして意見変わってきたのか。

天理市：クチナシ池の北の部分を含んでの話だったが、今回その部分を無くした。

檜 町：コロコロ・・・。

天理市：当初予定していた所が・・・。

檜 町：このセヶ辻池もクチナシ池もいらわなくても、この中で出来るという話で聞いていた。

天理市：下の所の斜面は使わないという事だったが、ただ斜面が実際に地形の状況を見ると、大分高さがあったという事です。

檜 町：1年も経たない内に、コロコロ変わって来て。

天理市：予算を使う前の方針として、地元には、出来るだけ早くこういう事を考えているという事で来させて頂きたかったが、議会に測量予算をお願いすると、その時点で全く何の話も経緯も話していない段階で、予算をお願いするのは筋違いと思っていたので、1度そういった事で我々の出来る範囲で考えてご説明させて頂いたんですが、そこは実際専門家も入ってみたら、やはり池との高低差とか、水路の付け替えも考えたら、ここは良い場所ではないと分かってきて、それが今回の変更となりました。そこについては、水利も関わる重要なポイントなので、説明が変わってしまった点については、本当に申し訳なく改めてこういった時間を取って頂いた事は、ありがたく思っております。

檜 町：稲刈りも終わって我々も県外の人からも、檜の米は水も新鮮で安心して食べられる米だと、白川ダムの雨水も溜まって直接檜の田へ流れてくる。全然公害もなく、家庭雑排水もなく、良い水で米作りをしているので安心だと、県外からもひっきりなしに米を分けてくれないかと来られます。それもスーパー以上の値段でも分けてくれと来られます。もしここへ焼却場出来て、もうええわとなったら何とかしてくれるのか。

天理市：先ず水質については、今まで以上に悪くなるという事は無いと、けど・・・。

檜 町：やっぱり不安がられます。

天理市：そこは実際にそういった事が起きているのかどうかという事を、先程小島町での聞き取りも・・・。

檜 町：聞き取りも、ちょっとええ加減と違うか。小島の聞き取りですわ。

天理市：実際に奈良県の多くの施設が、大和川沿いにずうっとありまして・・・。

檜 町：小島の聞取調査、前のクリーンセンターの雨水が小島町へ入った事がありますか。こんなん入る訳ない。小島へ入ったら、えらい怒らあります・・・。

天理市：・・・。

檜 町：流れは反対側へ流れんならあかん。こんなん東の上流の小島へ流れるはずがない。

天理市：大和川、水位高いんです。

檜 町：こんなん、初瀬川や。

天理市：要するにその排水は、布留川へ出てきます。24号線として・・・。大和川ではなく、布留川へ出てくると・・・布留川から・・・。

檜 町：滅多に小島の方へ流さるはず無い。

天理市：クリーンセンターの水、東側へ落ちている。そこから・・・。

檜 町：東へ落ちるけど水路出来ている。滅多に農地に流れていかない。

天理市：通常は流れて行きますが、雨が降って、布留川の水位上がって来ると、バック掛かって来から、流れないで田がつくようになります。基本的に大和盆地というのは、そういう形状になっています。年に1回という事ではなく、バックはよく掛かります。

檜 町：そして、小島町の風評被害はありましたかと、こんなんビニールハウスやから、中の作物には被害起こらない。路地の野菜だったら風評被害起こる。

天理市：いえ、これ全部水田です。水田とハウス部分と、この辺は混じり合っている地域なので、実際行って頂いて・・・。

檜 町：行ってます。

天理市：川に近い南の方がハウスになっていて、北側は田んぼです。

檜 町：えらい被害出たら、今まで住んでないです。

天理市：だから建設当初、煤も出ていたり、・・・50年前。

檜 町：そりゃー昔は皆・・・。

天理市：今の30年前に出来た施設の後、そういうのは出てないです。今度、国崎へ行って頂いたら分かりますが、一庫ダムの上に建っていて、飲料水、農業用水として使っている所です。今ご懸念されている農業に被害を与えているという事は決してない。

檜 町：ごみの話から、色んな県外の人への焼却場の話聞きました。そしたら、昼間は蒸気で煙は全く出ていない、しかし皆寝静まったら、モクモクと煙出ている。

天理市：24時間動かしていますので、温度を上げたり下げたりしない。低い温度から高温になる時に生焼けのものが出てしまったら、それが汚染物質になるので、ずっと24時間高い温度を保つ為、夜も動かしています。ごみを見て頂いたら分かりますけど、ごみピットに全部入れますから、あの内、問題なさそうな所を昼間摘まんで、問題ありそうな所を夜に摘まんでというのは、そういう器用な事は・・・。

檜 町：中の事は分からないが、寝静まったらえらい煙がバァーと出ている。

天理市：多分、昼間は白く見えますが夜間、日が落ちたら灰色に見えます。

檜 町：24時間動かしているという事は、ごみ無くても動かしていると。

天理市：ごみ無かったら動かしていません。ただ、ごみが無いという状況は考えて頂いたら分かるように、私達の暮らしでごみが出ないという日は無く、毎日出ます。2炉ありますので・・・。

檜 町：空焚きというのは・・・。ごみ捨てに行ったら、ごみ1回溜めてから燃やすのと違うの。

天理市：違います。どんどん摘まんで、ある一定の時間燃やして、ごみがずっと流れて行きますので、それが入口から少なくなった時、又摘まんで、随時摘まんで入れていく。

檜 町：我々が捨てに行きますね、あれを摘まんで・・・。

天理市：クレーンで高く吊り上げて、こちらに・・・。ピットというのは、車からごみを投げ入れる所です。そこから、摘まんで次のボイラーに乗せて行く形になります。先程、区長様からご指摘ありましたが、明日櫛本の役員さんも行って頂きますが、区長さん方もずっと仰っていますし、我々も申し上げていますが、あくまでも視察に参加頂いたから、賛成、反対というような事ではなく、中には見たけど気に入らんという方もいらっしゃるだろうし、どうしてもこの説明会をさせて頂いても、先程ピットで燃やすんじゃないんだと仰って頂いたように、なかなか現物を見る事も無いとか、実際にどうなんだという所を・・・。

檜 町：今の嘉幡の所は、昼間でも燃やしているという事ですね。

天理市：はい、そうです今も24時間燃やしています。

檜 町：その時、臭いはどうです。

天理市：ピットの所は、当然臭っています。エアカーテンで外に漏れないようにしていますが、今の施設は入口と出口と一緒に開放型になっています。扉も付いていません。搬入が終わった16時以降

はシャッターを下ろしますけど、それまではずっと解放になっていますので、エアカーテンで内へ送り込んで多少臭いはします。今度国崎へ行って頂く施設は入口と出口が別になり、片方閉じて片方開けるので、そしてエアカーテンで押し込むので臭気が全くしないという構造になっています。

檜 町：確かに、まあ国崎と嘉幡と両方見に行きましたけども、国崎はエアカーテンあるからほとんど臭いはしません。嘉幡の方はエアカーテンないので臭いますわ。

天理市：エアカーテンありますが、扉が開け放しだから・・・。

檜 町：嘉幡で燃やしている所、その中で燃えにくい物も出てくるのではないですか。燃えた後の灰はどう処理していますか。

天理市：山添村の中峯山という所の山へ埋めているのと、大阪湾にフェニックスというのがあり、近畿圏の自治体はほとんどそこで、天理市は自前の処理場と、大阪湾と2カ所に分かれて持っています。

檜 町：どの位の量ですか。

天理市：年間で4,000トンです。

檜 町：今度、新しい所での処理システムは今まで通り。

天理市：処分場と焼却場とは全く別ですから。参加される自治体、自分の所で最終処分場持っておられるのは少ないと思いますので、ほとんどが大阪湾のフェニックスへ持って行かれます。灰については、参加される市町村が責任を持って処理してもらおうと、当然自分達の市町村の処理枠を大阪湾なりで確保して頂くと。それぞれの市町村の捨てる灰の量は、それぞれで確保してもらわないと、天理市が責任持てませんので、ただ、捨てに行くのは出た所で同じように行きますが、灰の処理量は、それぞれで責任持って頂くと。そこがポイントになりますが、何で他のごみまで受けると、仰られるケースはよくありますが、今でも山添村の方にとっては、もの凄く大事な山に燃やした灰を引き取ってもらっているから、暮らしが成り立っている所がありまして、又、大阪湾の人にとっては、漁業されている方からしたら、海が一番大事だけど、そこが天理の灰を引き取ってくれているから、我々の暮らしが成り立っている所がある訳です。

檜 町：10市町村で今より増えてくるという事であれば、ごみの量も増えてくるし、灰の量も増える。今は収集している市町村と、新たに増やしていく市町村との土地の関連というのは、分かれるんじゃないか。大阪湾のフェニックスへ持って行かれる。山手の人はそれで灰を引き取って山へ埋め立てられるのは、その辺はどうしてはるのかと。今は大阪湾へ持って行っているんでしょ。3点ありますけど、上げ足を取るんじゃないが、さっき言われた挨拶の中で、場所が確定しましたって仰った所があるが、場所が確定したんですか。

天理市：計画させて頂く場所というのが、候補地という事です。

檜 町：候補地として、その中で……。2点目、資料の2ページの中で候補地選定、何処をしたのかと、今日初めて示していただいて、ここと2カ所選定されたのかなと、それ以外の所、前回の所との経緯を示して欲しい。場所は2カ所だったのか。その他はどういう経緯で落ちたのか。我々としては、常に何故ここだと、まだ理解出来ていない。3点目は、断層がまだ納得していないので、この断層、……。断層なんです。その……。というのは原発のニュースを見ている、実際の現場を……。しないと分からないと。

天理市：そうですね。トレンチ調査しないと分からないです。

檜 町：ここに書かれている精度は、どんなもんだと、それに対してどういうふうな対策を見せるのか、我々には全く分からない。その辺きちんとして頂かないと、いくら説明してもらっても、架空の話にとしか、例えば、これズレていて真下走っていたらどうするんですか。

天理市：分かりました。候補地について説明させていただきます。私自身、就任前のものも含んでいますので、今回ご質問頂いてから、部内で今までどうだったかという聞き取りの結果ですが、先ず場所を決めてというのは、嘉幡、天理市内の何処が適切かと考えると、道路が大事だと、先ず169号、県道天理王寺線（長柄運動公園走っている所）、市道天理王寺線（イオンの前の通り）、そして24号線、25号線、田樺本線（添高から天理へ向かっている道路）、先程説明させて頂いた通り、検討しましたが該当する土地が無かったという事です。福住については、距離があって運搬費が高くつく、冬場の雪の心配も当然必要という事で、何処というポイントはしてないですが、基本的に道路中心に、道路沿いでないかと検討したという事です。

檜 町：山間部の方へは、きちっとこの場所という所は。

天理市：グリーンテクノがあったかと思いますが、福住で土地購入して、棚ざらしになっていた所ですが……。

檜 町：グリーンテクノ、位置まで明確にしてたんですか、ここで出来るじゃないかと。

天理市：元々造成が相当必要なんで、一定の面積確保が出来ないというので、ずっと塩漬けになっていました。元々は企業を持って来たかったが造成が大変なので、そこまで造成してしまうと……。

檜 町：確かに冬の雪は心配もあるだろうし、ただこの話を前回の説明もそうだったが、いきなりこの場所でされるじゃないですか、いや他にも候補地あったでしょうという話だったが、その時のそれなりの資料というのを、私達は期待していた訳です。他にも候補地を探していましたが口頭では言っておられるが、具体的な資料、ここはこれだけ造成費掛かる、そういう書面のものが無かったんで、山は経費が掛かるし、それだったらたまたまここであったと、パッと言われた時に、我々住民としては、山手で探された時の書面1枚も無いというのは、理解しにくい部分もあります。今までの説明で、何箇所か候補地挙げて検討された中で、残ったのはここだというふうに説

明されたように受け取っていた訳です。

天理市：候補地という形まで行けたのは、ここだけだったという事です。

檜 町：前回市長、他の自治体の方と話されて、他にも無かったと仰っていたが、どこまで検討されたか我々には分からないですよ。目ぼしい所が無いというのをどうやって判断されたのか、やはりここをピンポイントで責められたのではないかと、今お話を聞いて、ここと嘉幡しかない、嘉幡以外ここしかないと責められたら、ある種・・・されているのかなあという気はしている。

天理市：道路事情が結構影響していて・・・。

檜 町：それは分かりました。我々として町民に説明するのに、ここしかないのでここに持って来られたというのが正解ですね。

天理市：路線の中で、この場所がいいというのがなかった。

檜 町：町民の皆さんに説明する時に、何故ここになったという候補地も挙げて経緯を知りたい。予算と仰ったにも関わらず、説明を聞いても、皆さん仰るのは、ここありきだったのと違うかと仰る訳です。

天理市：嘉幡については真剣な検討もしました。そこで車を取り回しながら建設の間、全部更地に出来れば面積的にいける。その通りです。そこを運用しながらでは、無理だったという事と、前の土地は色んなものを埋め立てていたの、建物を建てられない土地だった。小島側については、先程申し上げた通りなので落ちて行った。南の方というのをご記憶されていると思いますが、あえてそれを言わなかったという事ではなく、補足で説明すると、田原本とかつて一緒にやろうとしていた時に、田原本領内で候補地として考えていた所がありました。この辺だったら行けるじゃないかという事で、道路等考えた時、ただ田原本と一緒にやるという話がなくなってしまった。さすがにうちの広域の中に入っていれば、又、別だと思えますが、そちらを候補として考え難い。残りは山間で、全部の収集運搬車が、全部回って山間へ行かないといけないと、先程、そんなに変わらないだろうというご指摘ありましたが、往復の時間等考え積み上げていくと、年間億単位で変わってきます。又、冬場持って行けないという状況になると、市民生活で非常にご迷惑をおかけする事になってしまう。その辺複合的な部分で、盆地で何処かないかと検討していったという事です。最後、道路、路線を見ていった時に、ここもここも無かったから、無理にどこか切り開いて、新しい道路付けて考えてという状況に取っていったかとも思いますが、今回の場合は、この候補地が白川一帯に造成された土地があったという事と、そこであれば時間的にも今の炉がもつ間に建設も、環境評価もやっていけたと、仮定してですが、それが時間内に建てられるという事も分かってきたので、最終的に地域の方にご相談していける候補地という形で、1つになっていたという事です。

檜 町：今のお話を聞いて、住民説明会で多分次に出てくる質問が、10自治体がここに参加するという話になっていますね。何で天理市だけで探しているのかという事になりますね。

天理市：元々今やっているのが、天理、山添、川西、三宅ですが、川西、三宅は案内の通り非常に小さい自治体なので、天理で受けざるを得ないというのが元々あったので、嘉幡で一緒にやっていた。山添に持って行こうとなると、先程の福住の状況が全てかかってくる事になるので。天理市のごみ処理施設の対応年数が後10年、天理市のごみをどうするのかという事で、新設か、長寿命化という判断を迫られた訳です。平成26年4月は、長寿命化という事を判断された訳です。今の市長が就任されてから、長寿命化で実際進むとなれば、どの位の費用で、どういう考え方ですかと担当から聞かれた時に、新たにやっていると長寿命化は得じゃないと、現実的でないと、新設をしないと15年だけ時間稼ぎするだけで、10年間準備が必要だと、何をやるにしてもこの5年間に目途を付けないといけない時に、これだけの費用も変わって来る。

檜 町：それは・・・の中で分かっているんですけど、その中で10自治体が参加しますね。・・・抱えている所あるんじゃないですか。そしたらそこと一緒になって、場所も、もう一度選定し直して、ここではない所を探せないのかというのが次の質問になって来ますよ。

天理市：我々として、長寿命化を止めたとしても、このスケジュール位で動かないと、新設を一度にするというのが出来なかったというのが、・・・の条件としてあった訳です。何れにしても新設をする、広域化を止めたとしても、今の候補地で新設をせざるを得ないと思っている状況の中で、新設をするのであれば、もし仮に、他の所も困ってらっしゃるという状況は、県を通じて聞いていたので、目途が立っていない彼らは、もっと早く広域化を検討していた。北葛城郡は、王寺とやられるのがあったが潰れました。王寺町は香芝と一緒にされるので。数年前から奈良モデルの中で、今回組む皆さんの広域化出来ないかなーとお互い話し合いながら、結局適地が見つからなくて進んで来ていなかった所です。その進んでいない所のペースに我々として合わせていられない。何れにしても、やらなければならない状況で一緒にやる所が出てくると、予算面だけでなく炉も効率的になるし、電気も作れる、予算面で浮いた分を医療費に回せるとか、財源も生まれてくるしそれだったら、ルールを守って積替施設を造って、名阪で運んで来るのだったらどうですかと、県と相談して、県の方からどうでしょうと聞いていったら、集まってきたのが今の10自治体だった。これで仮に天理だけじゃないと、A市、B町でも候補地あるのではないかと、今からやり始めるという事になった場合、我々の炉からしても、その議論はとてもお待ちできない。うちは、うちだけでやるしかない、もしかしたら、この5年間の間にもの凄く早く纏まってA、B市という所が出てきた場合には、長寿命化という手を打って、時間を稼いだ時にA市、B町なりに本当に無いんですかというのは、不可能ではないが、今までの経緯を見れば、そこまではとても纏まるような雰囲気では見えないので、あてにならない、あてには到底出来ない。あてに出来ないというのは、不可能に近いと。

檜 町：そういうお話を町民にしてもらわないといけない。皆さん疑心暗鬼に。何かと言ったら、ここに一本釣りしているのと違うかと思っているんです。確かに市長が説明されている事は、第三者的に見て正しいと思います。市政対策としては、ここへ持って来られる住民に対して、これを正しいとするために、この地区に犠牲を押しつけるのかと言う方が沢山おられます。それは、市長、犠牲では無いと先程から仰っていますけども、当事者となればそうではない方もおられる。ピンポイントで、何でここだと、そんな説明もっと早くされるべきだと思います。今までは何かと言



ったら、色々候補地当たって最後に残ったのがここだという形で、ずっと来られましたので、それがピンポイントと違うのか。

天理市：今お話したような事を改めて、今日お越しの方以外の方にも見ていただけるようにしたいと思います。

檜 町：他の自治体も同じような状況を抱えながら、どういう状況で、どういう問題を抱えていらっしゃるのか、どういう所を検討されていて、無いんだとかね、そういう話をして頂かなければ本当にこの話進まないと思います。

天理市：奈良県は非常に小さい町が多いので、自分の町ではない所に無理に持って行って、出て行けと言われて路頭に迷っていた所とか、どうしようと足踏みしていた所がいっぱいあったという事です。今回、県の方も全面的にバックアップしたいと、本来であれば市町村だけの予算でやって下さいという所を、県も助成するという流れになってきています。お金の話ばかりに聞こえるかも知れないが、我々からすると皆様方からお預かりしているものでやっていくんですが、それが広域のメリットをきちっとご理解いただく為にも、今回、子供医療費の助成を伸ばそうと、こういう話も広域でなければ出来ない。

檜 町：だからそういう話を、住民の方に納得して頂く為にも、明らかにしていけないとダメだと思います。嘉幡の所も、運転を止めてと仰いましたが、例えば震災の時、全国の何処かへ持って行ったりしてごみ処理したじゃないですか、大阪とか他へ分散して建設期間中は、そういう所へお願いするという事も、何処まで検討されたのかよくわかりませんよ。

天理市：震災の時というのは、一時的に持って行くには積替施設も造らないといけない訳です・・・。

檜 町：だから私が言いたいのは、それをもし検討されるのであれば、これだったら幾ら掛かってと、それが無かったら判断出来ませんよ。例えば焼却を受けてくれる自治体があり、どれだけの費用が必要で、こういう所へ持って来る、建替えが、ここがダメだというのをどう判断されたのかというのをきちっと示して頂かなければ、本当に何処までやったのか、先程の聞取調査の時、ここになるというのと、時期的に経緯としてどうなっているのか、分かりませんよ。聞き取りしましたというのね。これ悪い回答なかったと仰いましたが、どういうふうに、ここダメだからここしかないと言われたのかというのは分かりませんね。

天理市：小島の方は、クリーンセンター職員がずっとやり取りをしております、リサイクルセンターの話の小島の方にした時も、まだ営農意欲があるのでダメですと、以前からあった訳です。それを新たに説明するのに改めて整理させて頂いたという事です。何か全く交渉がなかった所を、アライバイの為にとって付けたようなストーリーを付けて来たとか・・・。

檜 町：そこは、時期とかなければ勘ぐってしまうんですよ。そこも営農意欲あると言ったって、周りの田んぼを買収して、そこを売ってもらうという事も、近くであれば考えられるかも知れない。先程、赤で囲われたこの所、今候補地となっている。中の方は営農意欲あると仰られても、周

りが土地売りたい人があれば、この営農意欲ある人を持って行って、移転するという事も考えられるので、だから何処まで検討されたのか、この中の人は、ここで固定する限り動かないよと言っておられるのか。営農意欲あります、そうですかだけで終わっているのか。

天理市：論理的に言えばそういった事を、長い時間をかければ整理していく事は出来ると思いますが、最初に率直にお詫びしたところですが、今の炉がもたないという事の中で、まず環境影響評価に入って行ける状態で無ければ、こういった新設を一度に出来ない状況です。時間的に・・・。

檜 町：私が思うのは、その説明がもっと最初にあつたら何かもうちょっと、心情的なものが入りやすかったかもしれない。始め色々な検討して、ここの周りみたいな感じでお話しされて、今更そんな事言われても、やっぱりピンポイントやったのと違うのかという事しかね、しんどいものあります。今の話しを聞いていて、自分の立場の説明は良くされますけど、逆に時間が無いというのは、ここの住民にとっては関係ない話だと、今まで市の中で遅れたのが原因でしょ。そんなのは関係ない話ですって言われてしまったら、それ、あなた達責任取つたらいい、誰が責任取るんですかっていう話しになりかねないです。私が言いたいのは、いかに説得して頂けますかというのを、今日のお話ではとても、多分以前の繰り返しだと思いますね。こういう事検討しましたという項目はありましたけど、何処検討しましたかという事について、始めて嘉幡の所も実際の地図出てきた。

天理市：誰が責任と仰ったんですが、やはり最終的に市民の皆さんにご迷惑をおかけしてしまう事になるごみを、持続可能な形で回収できる体制を作れなければ、誰かが責任を取って辞めたり、首になつたりすれば済む話かという、市民の皆さんの生活に迷惑がかかってしまい、それで計画が出来ないという事になって、あるいは何十億というお金を、本来こちらの選択肢であれば使わなくても済んだものが、使わざるを得ない事になったら結局・・・。

檜 町：・・・答えを頂こうと思ってないですよ。

天理市：説明をきちんと、もう一度纏めて・・・。

檜 町：口頭では質問すれば、返って来ると分かっているが、何処にも・・・残ってないし、理解できないですね。

天理市：仰る通りです。

檜 町：何処まで本当に検討されたんですか。何処まで考えて話されているんですかというのが分からない。

天理市：この要素に加えて、過程の部分についても再度提示をさせて頂きたいと思います。それをきちんと尽くすのが、我々の役目かなと思っています。

檜 町：当初ピンポイントでこっちへ持ってきたのと違うかと、何でここだという事が皆の疑問だった

んです。役員もね、降って湧いたようにここだという事だった。要するに手続的な過誤を犯しておられると、市としてはね。手続きの過ちという事になるのでね。それをここやと打ち出さないと前へ進んで行けないから、行政的にはそういうふうになったんだろうと思いますが、その点が、まだまだ住民に疑問として残っています。何で櫛本町のここや、突然ここや。和爾の方も仰っていたが、それを解決しないと理事会としても、住民に説明のしようがない。こうこうこれで、苦労されていて、色んな候補地あって、ここに適地あってという過程が、いつから努力してやったと、見えてこなかった。今日までね。だから手続的な市の過ちという事で来ていますので……。

天理市：至らなかった部分は、……今更になってしまうかもしれないが、これまでの流れというのを、もう一度整理させて頂きまして、今申し上げた内容と重複する部分多いと思いますが、今日のご質問に対する回答という形でお示しさせていただきます。

櫛 町：今の話聞いていたら、毎日新聞の奈良版にも出ていますけども、これ櫛本校区の説明会の出席の市民による候補地の選考や安全性の観点から反対意見が出たと、出席した男性が市が決めた場所だから受け入れよという姿勢が感じられる。住民本位の姿勢だと言えないと、この話、一番最初に神奈川の例挙げておられた時に、ピンポイントでパッとここやと言った時に、神奈川の時に給スキャンを食らった、もう一度白紙に戻して、3カ所候補地挙げて、その中から選定されて今の所になったという、それが市長さん言われる時間的余裕が無いという事なんだが、とにかく何故ここに決まったのかと、これだけはきちっとやらないと。そして今の話ですが、例えば、これをこっちに持って来る事は出来ますね。ここをなくして、最初ここ2万㎡あったら出来るのではないかな。全部やれるのでは。ここでも良いのではないかな。絶対ここでないとダメだという事ないですね。やはり用地の確保が容易な所という事で、これは天理教さんの土地、こっちは岩屋の方でシャープが借りておられた土地で、シャープさん不要になってきたので、多分返す事もあって、ここ利用できるという事もあったのでしょう。従ってここ、そういう選択しています。何でここになったのかという事と、一つは安全性ですわ、これ何処か施設を見に行けと言われても、今度ここに来る施設が、一体どんな施設になるかと、例えば出来ても櫛川が一切流れてきませんと、上から出る煙についても、煤塵とか、ここにちょっと書いていますが、これだけが出ると、これ蒸気だから問題ないという事じゃなくて、そういうのも、素人聞いていたらこれ以下やったら大丈夫だと言われても分からないので、例えばですが、NPO法人ですか、社会的な活動、行政ばかりじゃない団体の人がこんな大丈夫だというような、意見も貰えば、又変わって来るんじゃないか。この中で耐震構造の話、●●●さん、私が勘違いしているのか分からないが、●●●先生と言ったら、●●●の所長さんされていて、河川工学の先生と違いますか。津波とかそういうふうな……。

天理市：元々、土地防災、防災関係全般……。

櫛 町：地震に強い先生ではないでしょ。

天理市：地震に関する防災の先生です。正に東日本大震災、阪神大震災とかの時もやられていて、それと他に、耐震設計、地盤工学の先生、●●●の先生方にお声かけを頂いて……と言われると、それぞれの専門の先生方に入って頂き委員会を作って、そこで検討した、正にこういう構想だか

らこの施設はこうなりますという事を、今度4年間、我々もしっかり定めて行く中で、それを市民の皆様説明を続けて行きたいと、今ようやく専門家の先生方に全体をお話して、実際にシャープの工場建てる時は、ここは大丈夫だとか、そういった事もやっておられますし。

檜 町：そうですか、それだったら良いですが……。私はあの先生、河川工学の先生と違うかなと、地震は、例えば原子力委員の中でも■■■さんとか、特別委員さんおられますね、活断層とか、その人達の意見聞いて、最終的にこれは大丈夫かどうか判断を、今の原子力発電の所なんかはされていますね。委員長は■■■委員さん、それはその分野じゃなくてね……。

天理市：微妙にそれぞれ……立場がおありやと伺いまして、なので先生1人じゃなくて5人程でチームを組もうという事になっていますが、なぜ彼になったかという、有名な先生というだけじゃなく、奈良の防災計画を作られた時に、奈良の断層の状況というのを一番知っていらっしゃる先生は他にはいらっしゃいませんという事で県からご紹介を受けて、一番最初から全く知らない土地に来てという事では困りますので、やはり■■■先生が現地に来て頂いて、先程水系等話が出ていましたけども、地形を見て水の出方、植物の生え方、そういう所から見てちょうど間の所に走っているだろうと、やはり実際には、この用地の所、地質調査も勿論やっていく事になります。

檜 町：活断層、どうのこうのという調査になりますと、なかなか大変な……。この回答もね、一般的な地震の確率は、ここは低いんですよ。それは一般的な地震であれば、耐震強度を、例えば7強にすれば、これはもう地震起ころと……。ただ活断層の場合は、そうじゃないでしょう。ずれるでしょ。ずれたら、幾ら耐震性があっても、ずれてしまったらどうしようもない。それを問題にしているのであって、一般的な地震の起こる確立、こんなのは、当然それなりの炉としての耐震性を有してないとダメだろうし、それはそれなりの強度を持って造ってもらわないとね。

天理市：この真下、谷筋に水が溜っている状況、水が溜っているというのは、地下水系がそこで切れている事なので、それは竹だったり色んな植物の生え方で分かるというような事も含めて、ここの場所という事なので、水系図というのは、当てずっぽうでやっている水系図とは、やはり実際の地形と分布と高低差等を見た上で、ここだという事でございます。仰って頂いたように、こうなると主に横が強いという事で、こうなるとバキッといくのが事実なので、今回に関しては、ちょうど高台になっていた所であるとか、それにしても、直ぐにダメになってしまうと折角予算投じたものも、非常にもったいないので、耐震設計の先生とか皆さんに入って頂いて、それでこれから正に手を動かしていただいて、これだったら耐震設計も大丈夫だろうというのが出てきたら、又ご説明を重ねてくのが建設を實際やるまでまだ5年もある訳です。そういう積み重ねが必要だと強く思っています。

檜 町：これ、素人で考えるとね、焼却施設候補地は、……6から26%の範囲であると、他の所は26から100%であると色分けされているが、焼却施設候補地と活断層そのものとの直線距離が200mないんじゃないですか。

天理市：150m。それが先程図で示した通り、地球規模のものでありますので、実際揺れが、本当に距離によって影響が出てくるのか、十数キロ以下でないと関係してこない、これは実際の過去のデータ

です。もしここが危ないという事になれば、やはり天理の盆地部分というのは、距離だけで言えばほとんど同じような状況であると。そういった中で大事なのは、地盤が強固かどうかというご示唆を頂きました。

檜 町：それが直線距離で150m離れているだけで、この活断層、これだけじゃないですよ。もう1本、2本ある訳です。活断層帯になっていますね。

天理市：断層帯というか、そういう所のひび割れが丁度なっているというご指摘を頂きましたが、むしろ1本になって纏まっている所がより強い。

檜 町：ほんそこ、またいでいる。皆ここはダメという感じしか考えないですよ。

天理市：そこが正に・・・。

檜 町：この説明が、■■■■教授の監修によって、どういう内容のものか分からないが、住民にしたら、そういう詳しい情報の見方もはっきり分からないです。もうちょっと説明を、詳しい■■■■さんの文献なり、ここについてどういう判断されたのかというようなものが無ければ、ちょっと納得しないと思います。

天理市：そういった事をこれから作業としてやっていきますが・・・。

檜 町：あのね、住民としてはね、そこに活断層、ひび割れ入っていて、ここに建てると、これは大丈夫だと、あそこで断層がこうなったとしても大丈夫だと。ええっ150mから200m位しかないという考えですよ。

天理市：実例を見させていただきます。塀が壊れているけど、家が残ったようなものというのは阪神でも、東北でもありますので、阪神大震災の時も、高速道路が壊れて、すぐ近くにごみ焼却場があった訳ですけども・・・。

檜 町：それはね、結果論であって、活断層が割れて出来た後の現象であってね、今仰っているのは、その活断層がその位置で特定出来てないでしょうというのが心配されていた。私もそれが心配な所です。それを先程、参与が言われたボーリング調査するなり、調査する方法はあると、ただ今回の調査では、活断層の場所を特定するような調査までは考えてないという事ですね。

天理市：これは、いらっしゃった時に伺ったが、あれほどの震災があっても、実は近畿全体の中で、活断層そういった形で全体的に調査されている所は、上町台地くらいでして・・・。

檜 町：それ例えば、■■■■先生、他の地震学者の先生でも結構ですが、過去の活断層の位置がここにありますよと、防災マップなんかにも出ていますよね。実際にその近辺で例えばマグニチュード7クラスの地震が起きた時、地図上に表われている、実際にボーリング調査しないですよ。多分こちら辺にあるのではないかと、今建物建てるのに評価するにあたり、あるのではないかと、活断

層の所が本当に割れたのか、あるいはずれた所が割れたのか、そのずれた範囲が例えば平均的なずれは、仮に300mあります。実際にここにあるんじゃないかと言われていた所と、実際に割れた所のずれが平均で300mあったら、今言っている150mなんて意味ない事になりますね。

天理市：そこが通常、ここが平坦地であれば特にそういった事になって来るかと思うが、ここは谷筋と、凹んでいる所に水が溜まっているというのは、はっきり分かれている地形です。

檜 町：それは断層によるものなのか、水路流れていますから。

天理市：ここは隆起した地質になっていまして、岩屋の〇〇さんに伺えば、よく化石なんかも出ると、まさに昔沈んでいた所が隆起していったような地形の中で、単純に土が積もって出来たような凸凹ではこの一帯はない訳です。その上で、この谷筋がここを走っているという事と、この白川の所を見れば、この場所に丁度断層が走っているというのが、私も専門家じゃないので、確認させて頂きますけども。

檜 町：確信できるデータがあつての断層地だという理解をして良いですか。先程150mと聞きましたけど、同じようなエリアで、同じような環境で、例えば東北や、阪神淡路のどこかであったとして、活断層上の地図のずれが、本当に150m以内に確実に収まっているような状況にありますよというデータがあれば信用しますけど。

天理市：今仰っているのは、その活断層が、図面に示してある所からずれる可能性があつたら、その話、断層示せという事を仰っているんですね。

檜 町：いや、示せではなく、活断層ずれる可能性というのが過去のデータとして残っているだろう、出ていけば、今言っている議論が無駄になる。何を心配しているかと言ったら、焼却施設の中にある汚染物質なり何なり、何か分からないですが、例えば割れた時、地下水の汚染というのにならないかどうかというのと、川とかに流れ込まないかというね、ここまで拡散しましたよという事は出来ますけど、地下に汚染してしまつたら、何処まで汚染が広がっていると、どうやって汚染を取り除いたらよいか分からないですよ。

天理市：そこが放射線物質と決定的に違う部分は、ごみそのものが汚染物質か、勿論腐ったりして衛生的ではないような生ごみの汁のようなもの見れば、衛生的ではないですが、いわゆる汚染物質と言われるような物質は、燃やす事によって生じるのがごみ焼却施設の場合なんです。

檜 町：それはね、先程の話で最終の廃棄物、一定期間施設の中に溜めておられるでしょ。灰とかね。それが割れてですね、災害があつて割れてしまった時に、雨水とかでね、そういう灰の最終処分場へ持って行かんならあかんものを、例えば、施設壊れてしまった、復旧がなかなか出来なくて、雨が降り、水が中に入って、地下水汚染になる、何処まで考えるかという事もありますかね。

天理市：その構造上の所、もう一度整理させて頂きます。実際灰はどういうふうに処理されているのかというと、山添とか、大阪湾とかに埋めているもので・・・。

檜 町：埋めているものだけど、そこまで持って行く前に、そこで保管されているでしょ。又、炉の中にも掃除しなかって、最終的には中に溜っているでしょ。

天理市：なので、毒物・・・構造がどうなっているのか分かりやすくさせて頂きたいのと、灰自体が無茶苦茶、毒物かという、それ自体が今、山添とか大阪湾とかに埋められているような物です。

檜 町：結論は施設を建てた、活断層は今こちら側にあると言っている。例えば、ここにあって壊れた時どうなるんだという事。

天理市：そこは活断層の部分を整理させて頂くのと、分かって頂きたいのは、灰がもの凄く毒物だったら、山添や大阪湾に埋めたりそういう事は出来ない訳です。

檜 町：そこに溜っている物が、雨とかで地表に流れ込んでしまった時に、どの位まで汚染になっているか後で調査出来るんですか。何処まで広がっているのかというのは。

天理市：もう一度、耐震構造の所は、整理させて頂きたいと思います。

檜 町：・・・かなり浸水性高いとして・・・。白川ため池の排水の所に・・・しているのがある。排水がもし溢れたら、こちらに予定している粗大・リサイクル施設・・・するんじゃないですか。その方が怖いですよ。私達は農家なので、水利という・・・だけど、その所、偉い先生に聞いて頂けませんか。そういう可能性あるのか。

天理市：白川に洪水調整機能もありますが、その調整機能自体が・・・。

檜 町：排水の所が壊れていたら下へ流れてくる。ちょうどリサイクルの所へ来るんですよ。水は本当に怖くて最近鬼怒川もあったが、我々の所結構あるんですよ。水門閉め忘れで上から水が来て、野菜全部やられたとか、水は生き物なので。そういう考え方を是非して欲しい。ここが一番難しく、我々が・・・。そこはしっかり偉い先生に聞いて下さい。医療の世界ではセカンドオピニオンという言葉がある。1人の先生だけでなく、例えばレントゲンの写真、他の先生の所へ持って行って聞くとか、先程NPOの話が出たが、原子力の時もそうだったが、ご要望がきて話を聞いてもらおうと、それから市長ね、色々答えても専門家じゃないので、ある程度限界があるので、専門家を連れて来て下さい。今度から。

天理市：講演の機会持てないかと、今・・・。

檜 町：我々、市長が学者だと思っないから。アンケートの話も・・・話ですよ。何人に聞いて、男女比、年齢、こういう分類、今の時代持って来なかったら、今時、こんな誰が・・・。

天理市：どれの事ですか。

檜 町：アンケートですよ。

天理市：小島ですか。

檜 町：こんなん、やらせ以外何もないかも分かりませんよ。自分達の言葉や、物事にもう少し責任を持って、データ揃えて持って来て下さい。そうでないとずうっと続きます。だから、アンケートもやって下さい。次までにね。今この位置に選定した経緯をどう示すかという話し出たが、以前からの話を聞いていると、最初は嘉幡の建替えを検討されたと思うが、難しいので他の所でしょうかと探しまわった結果、道路付、土地の形状、大きさがどうかと、最終的にポイントになったのが、前どなたかが言っていたけど、取得する都合地権者の数が少ない方がやりやすい、ここは地権者が宗教法人なので、話が早い事もありここに決まりましたという話がありましたが、他の所どれだけ検討したんだという話があった時に、ここも含めてなんだが具体的な資料もなく、口答でペラペラと喋るだけなので、どの程度の内容で、どの程度検討されたのかよくわからない。次、説明頂く時に、是非時系列で、もし私が市の担当者だとしても、ここの土地もし気付けば、これはもうここでやってと選定した上で、他のものをどう潰していくかという出来レース的な説明を、どうしてもやっているんじゃないか。自分がその立場だったら、そうするだろうなと思ってしまうので。例えば福住でやると、これだけの市有地持っている、だけど造成費用が掛かる、道路はどれだけ離れているの・・・それを口答でバラバラと説明されても、よくわからない所があるので、例えば、ここ選定するに当たり、他の候補地の嘉幡町の所は、実質面積、取得しようとしたが出来なかった、隣接農地がこれだけ、ここはダメだと、福住は市有地なので購入費は要らない、ただ造成費用どれだけ乗って、比較出来る資料があって、その中からここを選んだと、説得力出てきます。もう出来レースになってもかまわないです。比較出来る資料として出してもらわないと、尚更、ここのピンポイント感が強くなってしまうと思うので。それともう一つ、焼却場の候補選んだ時、散々選んだと、もう市が必死になって探し回ったけど、ここしか無かったと。これだけの1万㎡を超える、平坦な道路付きが良くと言っていた、その数カ月しか経ってないのに、直ぐ隣接で2万㎡超えて、ペッタンの土地で道路付き抜群で、リサイクルセンターの土地は見つかりましたと、それは、ますます納得できない話です。これはどういう経緯でここが出来て来たのか。ここ探してなかったのか。

天理市：ここはシャープの異常事態で、その経緯が分かるようにという事ですね。

檜 町：そういう事です。他の所にも、こんな隣接地で、こんなペッタンの、もういつている土地そのままで、ポンと出てくる。こんな所にあるのだったら他にもあるのかなーと思ってしまう。

天理市：この一帯に集中・・・。

檜 町：でもこのメンバーの人で2万㎡の土地で、道路付きよく、ペッタンの、天理市内の土地、地権者の数はともかく、出来そうな所探してきたらどうだと言われたら、探してこられると思うんです。その後地権者、環境の問題なりあるかしのれないが、まず一発目の焼却施設選定するに当たり、比較された嘉幡、福住、私達が知らない他にあるんだしたらその土地を、どう評価した上でここになったかという、具体的に分かる資料を示していただきたいのと、ここのリサイクルセン



ター出て来た経緯、合わせて説明して頂きたいのが1つです。もう1つ、クリーンセンター出来るというのは、どんなに説明頂いても、基本マイナスなんですね、この地域の人間にとっては、市全体、地域の焼却の問題からすればプラスかもしれないが、出来ている地域の人間にとっては、基本、何があってもマイナスなんです。それをどうプラスに変えていくと言えば、附属する施設ですよね。その施設どういうものがあるのかで、ああ、リサイクルセンター出来たが、近くに良いものが出来たので良かったねと言ってもらえるような、何か附属の施設も含めて、このクリーンセンター自身の、こんな建物で、こういう配置で、こういう格好のもの出来ますと、何か持って来られると思うが、それが無いと他所のクリーンセンター見に行っても、自分の所どんなもの出来るかわからないのに、他所のクリーンセンター見に行っても想像つかない。ここの焼却施設には、ごみ集める倉庫みたいなもの出来ると、こっちに焼却炉が建って、ここに煙突建ちますと、そういう概略でも良いですから、この焼却施設の所に、負の施設、こんなもの出来る、それに付随して、その後何年か分からないが、福祉施設が出来るとか、公園何かも整備しますと仰っていますが、そのプラスの施設ですね、それも仮定でしか出来ないと思うが、このエリアに、こんなもの考えている、こういう建物かもしれない、そういうものを含めたクリーンセンター全体の概略図がないと、これだったら良いですよという答え出ないと思う、施設が建ちますだけでは。

天理市：今、候補地として環境評価に入っていく段階なので、仰って頂いたような事を、正にやっていくのがこれからの4年間とっております。その中で、他の自治体も含めて、地元振興に、これ位しっかりお金出していきましょうと合意をして、それで具体的に出来る施設が決まってくるので、じゃー来週持って来いという話になった時、それが出来るかという、非常に難しい訳で、実際建て始めるまでには、そういう事を整理した上で、先程、専門家というお話しも出ましたが、それが国とかが審査したとしても、許可できると、膨大な資料、これから作っていく事になりますので、それをきちんとお示していくという考えです。その上でどういったものがあつたらいいなという希望は、出来るだけ地域の皆様に伺った上で、ご相談していきたいと思っておりますし、まず我々が視察と申し上げているのは、根本的に今のクリーンセンター、古いものをイメージされている方が多いと、それこそ臭い一つ取ってもどうだと、また周りの雰囲気もどうだと、一般的な部分だけでも理解頂きたいという事で、視察と申し上げている訳で、そこへ行ったら、全く同じものを建てるから、完全に同じ事です承してもらえるか、そういう事で言っているのではありません。樺本町の方でも、臭いが・・・環境が良い所と思ったのに、煤がという意見をいっぱい伺いますので、本当にそういう感じの施設ですかと、これは百聞は一見にしかずと思うので、出来れば視察に行ってくださいという事です。

檜 町：話は変わりますが、1ページ目、スケジュール（案）として書かれているが、予定で書かれていると理解しているが、12月議決で来年、28年4月に一部事務組合を設立とある、その下に計画書等と書いているが、この流れを見たら、ちょっと前に役員、この資料もらっている。その時スケジュール見た時に、今年の12月にこの（案）議決され、来年の4月には事務組合が設立されるという事は、ある意味もう大方そこで決まってしまうのではないかという事を、役員の中で話していたんです。その辺いかがですか。

天理市：そこは持って行き方がちょっと分かりにくいかもしれないが、専門家から見て、ここの土地でやって、どうなんだ、こうなんだという事を4年かけてやっていくので、相当専門家等色んな

方に入って頂きながらやって、国の方からそれだったら建てて大丈夫だというものも返ってくるので、実際予算規模もあるがその土地でというのが、正に道路条件、名阪走ってる、川があるのか、山があるのか、そこで住民の皆さんに、どんな影響があるのか、きちんと見定める為に、仮置きがないとその評価に入って行けないという事を、動かしていくというのが、この27年から28年の動きという事です。仮に29年なり30年、31年なりに環境評価というのがとてもこれでは認可できないというふうに、国が判断するようなものであったり、とてもその基準を守れないという事になれば、そもそも32年度以降の建設に行きつかない訳で、だから、それが完全に決まった話かどうなのかと、仮置きの候補地でやった場合どうなのかというのを評価してもらうためのステップとして、この4年間で、本当に慎重にやらないと認可が下りないので、それをどう表現させて頂いたら・・・。

檜 町：そのスケジュール見た時に（案）には違いないけど、ある意味その辺で話が決まってしまうんじゃないかという事が、皆で言葉が出してしまったんですよ。それをそのまま、次回（今日）の説明会の時にお聞きしようと思ったんです。

天理市：どんな施設が建って、どういった免震の構造になってというのは、ご指摘いただいた私自身専門家じゃないので、そういう事をきちんと計画の中へ入れていく為の準備期間が28年度という事です。影響評価というのは4年間掛かるので、その間にどういう施設を造るのかという、検討委員会を立ち上げて検討していきます。そしてこれを実現する為に努力していこうと思いを持っています。

檜 町：具体的に建物の青写真というのは出来ていないんですか。

天理市：必要な面積からすれば、こういうレイアウトで、ここに入りますねという事を、コンサルとかが線引きしている状況です。高瀬川の皆さんに言われたが、洪水調整機能があると言っても、かつての水つきの事考えればというご指摘の中で、ここがそんなに保水能力あるような土地になっていない。屋根の部分の造れば、それに伴って調整機能を持って行かないといけない。それを検討委員会で、何㎡位溜めればそれに伴って担保されるのかと作業をやって行かないと一度にはお示し出来ない訳ですが、最初から全部落ちるようにやるというのは、そういった事を全部予算付けてやってから、やっと初めて地元に来るという事になるので、それよりは方向性の段階で来させて頂いているという事です。

檜 町：前回の住民説明会の中で、質問の1つに、もし檜町住民の判断がノーだった場合、どうなるんですかという質問に対して、市長の当日の答えは、何故ダメか、説得させてもらいますという回答だったと思いますが、ノーが出て説明会何回もやらせて頂いて、最終的に町民としてノーという結論になった時、どうなるんですか。止めるんですか、それとも続けるんですかという質問でした。それに対して今日・・・。

天理市：ノーという、何故ノーなのかの中身・・・。

檜 町：何回も住民説明会あって、最終的な決議採りますから、この中では、明らかになると思うんで

す。お答えは、それしか出来ないと思うんです。ノーとなった時、一体どうなるんですか。

天理市：何故ノーなのかという理由に・・・。

檜 町：前にいっぱい質問されたですね。それに対して、今日みたいな答え返って来ると思うんです。答えを見たって、最終的にはノーだった。

天理市：全市的問題ですので、なかなかその問題にお答えするのは、難しいですけども・・・。

檜 町：確認したかったのは、止められるのかどうか。檜町が反対して、住民としてノーを出した時に、この事業は止められるのか。

天理市：その仮定の質問に、お答えするというのはあたかも皆さんがご懸念なり、色々な疑問を持たれているにも関わらず、それにお答えする事をなおざりにして、強行しか考えていないというニュアンスでしか、次の方へ伝わって行かないので。

檜 町：やはり当事者意識と第三者意識と違うと思うんです。・・・所があつて、結果として最悪のノーというのを出した時どうされるのか。多分今日は、出ないと思うんです。そういう話、これから何回も出てくると思うんです。常にそれに対して納得出来る説明させてもらいますと言ってみたって、多分溝が埋まらない部分あるんですよ。

天理市：徐々にですけど、これから今我々来させて頂いている段階で、環境影響評価をやれば、もっときちっとしたデータだったり、耐震構造だったり、設備もこうなってきますと、具体的なものが出てくる訳です。それが出てくる度に説明の機会を持たせて頂きたいと思ひますし、それに対して質問も、お答えを積み重ねさせて頂くと、その最後に、どういうふうな判断になるのか、我々としては、予断を持たない所です。

檜 町：今日先に帰られたのは、水利組合で一番心配されていた方ですよ。だからああいう方も説得せんなん訳ですよ。それが出来なかつたら、水利組合中心にノーとなつてしまった時の状況ですよ。その時の話、我々としては、どうなるんだと考へないといけないし、市の方もその時は、どうするつもりだとね、そこまでしないと、今の事情埋まらないと思う。

天理市：市民の皆さん、全体に関わつて来る訳で、何れにしてもごみを処理出来る体制が無いと・・・。

檜 町：それは、分かっているんです。

天理市：その上で水利の方が仰るとしたら、地下水の洪水調整機能に関する事なのか、汚染なのか、風評という事なのか、我々としては、中身の部分のお話をしていきながら、実際こういう体制でやっていますと、それが出来るものだけじゃなく、危機管理マニュアルも含めて、こういうふうな形になってきますと・・・。

檜 町：たればの話なので・・・我々としてもそこは考え直しておかなければいけないので、市の方もそこは考えないといけないし、そこをどうするのか、話し合いの過程の中で、正直に言って頂かないといけない時が来るかもしれない。

天理市：恐らくそれは平成30年、31年とか、いよいよ評価の所が固まり、どういった建物、どういった耐震構造、予算全体から見ても、附属の喜んで頂ける要素も出来てきますとか、そこまで行った時に・・・。

檜 町：30年、31年に・・・出されたらね、この計画なんか飛んでしまうでしょ。

天理市：本当に評価というのをやって行くのは、この期間ですからね。評価の結果は出てくる訳で、あと施設について、構想は少し早いですね。

檜 町：この計画も30年、31年でね、今回檜町ノー出したらね、この32年からの工事とかも、今の辺野古みたいなものですね。一体どうするんですか。今日は、議論噛み合わず時間だけ経ちますから、やはり住民説明会の中でそういう質問された方おられるというのは、そういう事心配されている方おられるので。

天理市：我々として来た質問に、不十分だと言われれば、答え・・・。

檜 町：市長は、それしか回答無いがも分からないが、それを聞いても、ノーを出しているのに説得なんかしてもらっても、説得なんか出来るかと思っておられるかも分からない。もうノー出しているんだもんっていうね。

天理市：それにお答えする事が、我々の説明会に臨む姿勢とか、本当に真剣に真摯に応える気持ちがあるのかという事と関わってくる話なので・・・。

檜 町：だから市長、これ自治会の役員と、各役員集まって聞いていますわな。今日の話、住民は分からないです。この間の住民説明会以降、どういう事で、どういう経過辿っているか分からないです。それについても、断層の件についても、これ1ページ書いているという事は、そこに疑問点が集中しているものがある訳ですね。・・・そういう点についても、来るだけの説明では、専門的で素人にはわからないから、ここに水溜まっているからこうだと、これは誰か見て来たんですよ。そういう具体的な事も・・・。

天理市：勿論、今後の作業というのは・・・。

檜 町：いや、そういう事を先ず解決して行かないとね。だから分かる事みんな教えて欲しいんですよ。みんな待っているんです。断層が150m先にあるの、普通だったらその位だったら、そんなんぼんまに詭弁やないかという話し出ているんです。150m離れていたら、そこに果たして断層があるのかどうか。もっとこっちにあるのか。先程仰った具体的な事例があり、現地の様子がこうだと、だからこういう判断している。科学的ものを入れとかないと前へ進まない。だから一つ一つ

潰していかないと、役員も住民に説明しようがないんです。同じ状態でしょ。結局資料も、この前とそう変わらないじゃないですか。増えているけどね。

天理市：後は、文書での回答にさせて頂いた部分がありましたので。

檜 町：そういう事を例えば手続的に、最初そうだったと、だけどこれだけここを努力したとかね、もうちょっと具体的に住民に説明できるものを出して頂かないと。

天理市：そこをもう少し掘り下げて・・・例えばこの表を見ても、私自身も最初こういった事を伺うまでは、距離が相当離れていないと・・・影響無いんだと、やはり分からなかったです。それを聞いて頂くだけでも、そういう事なんだという事は、一つ一つ疑問がある程度いっても、まだここはちょっと足りないとかという所は会話を続けて行かないと難しい部分あるかと思えます。そういう為にも、お忙しい中恐縮ですが、出来るだけ回数を重ねさせて頂きたいと思えますし、見に行ったけど変だった、こちらの方と同じじゃないかとかいうような部分も出てくるかどうかですけれども、そういった視察にも行って頂きたいという事でございます。

檜 町：地形がどうって、現状がこうだからこう判断されているという事あるんでしょ。

天理市：何故ここが・・・示しているかという事・・・。

檜 町：離れた所に通っているんだと、近くじゃないと、こんなかなり予測だからずれがあるでしょ。けども現状、地形がこうだからと言ってもらわないと、判断できないでしょ。みんな疑問に思っているのは、ほんそこにあるのに、ここ大丈夫と言ってるの、こんなん詭弁やと言っている方多いです。

天理市：それは実際どういう例があったか、もうちょっと詳しく説明させて頂いて、その上で・・・。おそらく意外でいらっしやっただと思います。私自身も断層走っているけども、ここの方が色薄いという事も・・・していく上で出て行く部分ですので、おそらく皆様方のイメージとしては、このラインに沿って赤く、そこから離れて行くに従って薄いというイメージだと思う。我々としては、詭弁を弄するつもりはございません。

檜 町：いや、皆そう思っているから・・・色分けしたってほんまに隣接でしょ。だから、ここありきで、理由付けしているとしか見えない。それともう一点、これ広域にする。これ今回する大きな目玉になっていますね。この理由として、市の財政負担軽減という事があり、まあ自分の所を出したごみは処理せんならあかんと、当たり前の話だ。何故他市の分まで天理市で処理せんらんのと、それは、もうちょっと地元住民の立場に立ってね、ここで処理する事になっても被害は最小に抑えるような形で、施設を造って欲しいという事、これ見ていたら、これで浮いた金は教育の何かに使うとかね、こんなん地元住民にとってね、全然関係ない話なんですわ。我々は、被害受ける立場の人間なんでね。お前ら我慢して、ここまで広域でしたら、これだけ天理市浮くんですよと、それのみなんですよ。その理由をさっきから言ってる。これ事故起きた時、そこが使用不能になった時には、これ生ごみだから置いておくわけにはいかない。ダイオキシン以外の

問題として、それ2年も3年もかかりますやん。それもし施設が破損した時には、そんな大規模な施設造れば・・・、出来るだけ小さい施設造るときや・・・。

天理市：基本的に施設の大きさというのは、炉が大きくなったら被害も大きくなるかと言ったら、そうじゃなくて、小さい炉でも、ある程度の施設が必要で、炉を大きくすれば、若干大きくなりますが、そんなに極端に大きくなる事は無い。

檜 町：それがね、これ今天理市が扱っているごみは60 tですか、1日。

天理市：焼却量ですか、80 t位です。

檜 町：いやこれ60 tになっています。「町から町へ」に書いていました。ごみを減らそう、1日に出るごみの量は65 t、平成26年、このごみ段々減らして行ったら、人口も段々減ってきますし、ごみの量はもっと少なくなったら、こんな大きな焼却炉必要無いんじゃないか・・・。

天理市：・・・ごみの量も当然、減らす量も含めて多分もう少し小さくはなると。

檜 町：50 t位の量に減らすという目標で、そういうような施設造ったら、こんな大きな1万㎡の土地も必要無いじゃないですか。

天理市：非常に割高、かつ燃焼効率が悪くなって、環境負荷はかえって高くなる。

檜 町：こんなね、馬鹿デカイ施設必要なくてね。もっとコンパクトな施設も造れるのではないか。今の話ね、住民目線なんですよ。それに対して、市長は一般論として仰っている。例えばの話、さっきごみの量50 tで済むものを360 t持ってきて、これがもし事故起きた時に7倍くらいのものがここに残っているんですよ。ざっとそれだけ計算すればね。そしたら事故起こった時360 tそんなもの溜めておくより50 tで済むものを他から持ってきて360 tも処理するものを、我々が引き受ければあかんのかというのが、我々の意見なんです。それを行政の立場から一方的な話しただけだったら、溝は埋まらないですよ。市民としては出来るだけ安全なものにして欲しいというのは望みなんです。

天理市：ですから新構造しても何にしても、これは口答になってしまうので、後できちんと説明をしないといけないと思うが、耐震、環境にしても、いざという時の発電をして、防災拠点にするという事からしても、凄く小さいものより、一定の方がいいものになると、これから説明できるようにしていきたいと思います。それと共に、感情論かも知れないが、奈良県は市町村が非常に分かれ過ぎている所です。その上で天理市も下水、市内で処理しきれないですよ。流した下水は浄化センターの方へ行っている訳で、灰も外へ出してそちらの方でお世話になって、我々自身の暮らしにしても、他の要素の所について、天理の中で解決できない問題というのはいっぱいある訳で、そういうありを説明させて頂きたいと思いますし、本来たくさんのごみが来る事による、地域の皆さんのマイナスを生じるとしたら、車がたくさん来る事によって、廃棄される物質が増えるのかという事とかと思いますので、それをきちっと説明・・・。

檜 町：700年か1,000年かに1回地震が起こってしまった訳ですよ、そこまでピークまで含めてやるのか、ここに想定されるピークって何ですか。どの位の地震想定されるんですか。過去700年から1,000年というのがあるかも知れない。そういう話も出てくるかも知れない。想定問答というのが、これをしたいからという説明をされるんじゃなく、我々の目線に立った時に、一体どんな話をして頂けるのかというのが……。福島もね10mの防波堤造りました。これでもう大丈夫ですって言って30mの来たんです。今の話しを聞いても、住民目線と違うなというのがあったので……。

天理市：そこは25万というのがあって、本来的には大きくないので……。色んなお話しを聞いて、心配されるのは十分わかりますので、丁寧にご説明出来るようにしますが、その大きな地震が来れば、施設より池の方がもの凄く危険という部分も考えられる。我々からすれば……。

檜 町：それは、この辺で1m位、水つきますよというのはみんな知っているんです。それプラスそういうのが洪水乗ってやって来たらどうするんだと。余計なもの来るんですよ。ここに住んでいる人間、堤防壊れてあんたどうするんだと、そんなの逆にほっといて頂戴と、天理市がこれちゃんと直してくれるんでしょというのが答えかもしれません。

天理市：インフラ整備からすれば、これも説明繰り返して行かないといけないが、防災関係のインフラ整備も含めた重要性は、施設が出来た方が高まると思っております。何故かという、奈良の主要な市町村にとって、暮らしていけないという事は、周りの道路の補修にしても、防災関係その他にしても、管理からいざという時も含めて、そこに投資しないといけないという理由が増す訳です。今も高瀬川沿いを見て頂いて、ほとんど名阪の側道を入れて頂いたら、荒れたような更地の所に、いっぱい色んな物が野積みされている状況だと思います。そこで、どれだけ定期的に水質検査出来て、どれだけ洪水調整機能が担保されているかというのは、今の時点でもう少し手を加えないといけない部分があるが、このリサイクル施設がそこに出来るという事になれば、周りの市町村の予算を使ってでも投資をしないといけない。それをしっかりやっていく……。

檜 町：そういう事を想定問答の中に出せばいいじゃないか。我々にとって利点があるんでしょ。何故今の資料の中にそれが入ってないんですか。何故我々が言う前にそういう事が伝わってこないんですか。

天理市：基本的に住民説明会とかで、ある程度説明させて頂こうという……。

檜 町：口頭ではそうかも知れないが……。

天理市：それはもう一度文書に示させて頂く……。

檜 町：質問をして、それに対する回答で、それで出てきているんでしょ、きっと。口答でという事は。

天理市：最終的には、膨大な資料になってきますし……。

檜 町：だからもし・・・。

天理市：私そんなに頭いいと思っておりますけれども、何も考えてなかったら、今こうして口頭でも・・・。

檜 町：そういう事、何故そこまで考えて頂いているのであれば、この資料に載ってないんですか。みんなこれを通して理解するんですわ。

天理市：町によっては、これでも長過ぎる、説明の時間がもっと・・・と、色々ある中で、我々として先ず一般的にこういう説明をしっかりとしないところで作ってしまっている部分がありますので、より詳細をそこまで聞いて頂いている事については・・・。

檜 町：住民目線でお話しをして頂きたい。さっきから聞いていても説得されているだけだとしか取れないです。そういう所まで考えているのであれば、何故今日の所を書いてないのと、疑問になってきますので。

天理市：想定問答が至っていない所については、充実させて頂きたいと思います。ここが、あれが気になるという所を仰って頂ければ、きちんと回答するのが我々の役目だと思っていますし、最終的には、国の方としても、こういった具体的な嫌悪示されているのに、それに対してきちんと答えを出せてない、対応出来てないという事になれば、それは認可出来る、出来ないの話になる訳です。それが正に今決まっているのかどうかという事にも繋がって来る部分です。

檜 町：これ国と県の補助と、市が出す分として、国、県の補助金いつまで、何処まで進んでいけば、決定で下ろせるという時期あるんですか。そういう面で急いでいるという部分あるんでしょ。

天理市：平成30年の段階で、一旦その発電関係の防災機能を、国として高めたいというのがあるので、ごみ焼却施設を火力発電施設としてしっかり発電するような事やれば、2分の1補助出るという今時期です。本来であれば3分の1です。それが平成30年で切れるという所がありますので・・・。

檜 町：平成30年度内には、はっきりしたものに決めておかないと、いけない訳やな、市としては。

天理市：これと同じ工程を見せておきまして、建設をしていない状況ですが、環境省の方と話をする中で、奈良県が非効率的にやっていると、金銭的な部分だけじゃなく、エネルギーとか、排出についても小さいのでやっている。それを纏めていくというのは、非常に大事だと、ここできちんと計画立てて見通しが出来れば、今の時点で2分の1のところに乗って行けるよう協議をしていきたいと思いますので、東京の方でやっていますので、それは2分の1、3分の1という事は、大分大きいものがありますから。

檜 町：2分の1であれば、30年度以内に決定という事ですか。

天理市：国の方として、交付の見通しが立てられる段階まで持って行かないといけない・・・。



檜 町：3分の1であれば、何年ですか。

天理市：それはずーっとそうです。現状の交付金です。そうなってくると年限だけじゃなく、今の炉がもたない、交付金の事だけじゃなくて、今の炉がもたないというのが本来的には、一番重要な事で、これを2年3年とやっていくというのは結局修繕のレベルじゃなくて、非常に割高になるんですが、市として大規模修繕をやるという決断をせざるを得ないという事です。

檜 町：4月の事務組合設立ですけども、普通に考えれば、これで具体的に動いてくると思うんですけども、ここまで計画に載っていればね、28年度でしょ、一部事務組合ってどういう機能するんですか。

天理市：つまりそれは評価するにあたり、それも補助受けたいので、その評価を受けたいですと環境影響評価をやっていきます。それに対して補助受けていきますと、皆で一緒に申請をしていく10の市町村が集まって一部事務組合っていうのを作る訳です。つまり、天理市が環境影響評価をやりたいです。それが予算大分入ります。専門家もいっぱい入ってもらわないといけないので……。それで主語が、天理市はって所から一部事務組合はっていうふうになるという部分です。

檜 町：今、市長さんとかお話ししていますけども、一部事務組合出来た段階でどうなるんですか。

天理市：それについては、一旦候補地として天理という事で進んでいますので、一部事務組合になっても、設立されれば管理者は天理市が持つ、私になりますし、今は準備の会合の中で、天理市が長をとっている形で、説明をさせて頂く時に、他市町村の面々が加わるとしても基本的には、事務方、そして政治的な意味の最終的な責任持たないといけない。今で言えば私なんですけども、この顔触れが変わるという事はない。

檜 町：今の話し、聞けば聞く程、止める事出来なくなってしまうでしょ。我々がノーと言ったって、どんどんお金も張って来るし……。

天理市：つまり皆さんがご質問頂いているのは、実際どんな構造になっているか、どういった耐震の建物で、どういった地盤でという事を決めていく為には……。

檜 町：卵が先か、鶏が先かの話なんですけど、その卵の時はボンと割ってしまえば一緒だけど、鶏になってしまったら、どうして潰してしまうかという事になりますよね。

天理市：行政側とすれば、こういう計画を立てるから、実際完成出来るように進めていきたいという思いですから、反対される理由によってうちがいくらしたいと言っても、出来ない可能性があります。だから理由によっては、分かりました止めますと、なかなか言えませんので、我々としてはやりきる思いで、こうやって来させて頂いているという事です。

檜 町：一部事務組合設立されたら、こういうふうに天理市の部署と、市長さんとお話ししている状況では行かないと思うんです。

天理市：いや事務局はうちが持ちますので、他の人間入って来る可能性もありますけども、管理者が私になるのであるう事は、もう首長会議のA市さんというのが、名阪沿いにあり、ここは人口規模から言うと比較的大きいので・・・。

檜 町：10市町村というのは、何処と何処というのはまだ言えないんですか。これ・・・6は決まっていると新聞に載っていましたね。

天理市：それは行政側が、自分の議会とかで話をして、こういう事務組合の中で、自分達の今後のごみ処理を考えて行こうと思っと思っていますという事の事前説明会をやった上で、県の方にうちに対して、自分もそのチームに参加していきたいと言っているが、最終的な判断は、議会で議決して始めてなので、それは予算も伴うし、自分の所で積替施設造って行くという決断にもなりますし、焼却はしないが色々な事について、自分も負担するという意思決定も伴うので、概ね名阪沿いという事で申し上げているんですけども、それを明かさないという事を、記者さんからも質問受けたが、もしこっちの町は、もの凄く有害なもの出して、こっちの町はあまり有害なもの出してないから、こっちと組んだ方が天理に取っては、まだマシだという事があれば別ですが、人口規模が概ね25万で、炉の大きさがこの位という事があれば、住民目線でないと思えるかもしれませんが、ルートは全部名阪なので、こっちから入る、こっちから入るとメンバー構成で変わるとなれば、皆さんに説明をした上でないと進んでいけないと。

檜 町：それは名阪沿いの市町村になるんですか。

天理市：名阪を通過して来る市町村・・・。

檜 町：そしたら奈良から、こちら側通るという事、あり得ないですか。奈良東病院、あの方から、こっちへ入って来るという事は。

天理市：ないです。それは我々としても認めませんし、こういった話しがあれば他から質問受けましたが、それはお断りしております。というのは、積替施設造って、大きな車に乗せ換えて持ってきてくれる所じゃないとダメだという事です。

檜 町：今度天理市内は、今は嘉幡に持って行ってるが、それはどうされるんですか。

天理市：個人の方、持ち込み方の詳細については、これから決めさせていただきます。奈良市が一般持込で、道路渋滞起きているというのが出ているが、うちの市では、今の24号線の交通量でも、年末、年始持込みでも渋滞というのはほとんどないです。

檜 町：何れにしても迷惑施設は迷惑施設なんです。これ、影響が無いとか何とか言われても、恐らく距離制約ありますね、ごみ処理場造るのには、一番最初に言っていた学校とか病院とかから700mですか、離れてないとダメとか。

天理市：市によって条例で決められている所もある。

檜 町：天理市はそれないんですか。そんなの無いの。距離制約無いんですか。

天理市：だから・・・。

檜 町：前の時、700mとか・・・。

天理市：確認しますが、うちの市に関しては特段・・・。

檜 町：極端な話、そばに小学校あっても立地出来るんですか。前聞いた時、そんな話ではなかったですよ。

天理市：資料で示させて頂いていますふじみ野ですが、すぐ傍に中学校が、うちの市の場合は、嘉幡の保育所もあれば、二階堂小学校もそんなに離れていないです。

檜 町：距離制限あるような事言ってたような・・・。

天理市：全くそういう事なく造られている自治体は、たくさんありますので、許認可がそれによって下りないという事は、距離だけですけども、そういう事はございません。

檜 町：今の現状の稼動している処理場、隣地に色んなもの埋められていると。

天理市：隣地じゃなく、向いです。

檜 町：それは、そこの上へ施設造るという事は、埋められているもの撤去すれば出来るんですか。

天理市：もう既に売ってしまっている。

檜 町：売っているのか・・・。

天理市：物は建てないという条件で売っている。隣の光洋サーモさんに・・・。あそこに古い焼却場があったので、その当時は野焼きに近い状況で燃やしていたと聞いています。

檜 町：この環境影響調査というのは、これだけの年数掛かるんですか。

天理市：炉が大きいですから、県条例に基づいて環境影響評価しますので、これだけの時間が掛かると。

檜 町：この影響評価で、ここはダメと結論が出た場合にはどうなるんですか。

天理市：それは造れないです。一般論だと言われますけども、最近のクリーンセンターの設備等からし

でも、そういった蓋然性というのは極めて低い。環境影響評価の結果ですね・・・。

檜 町：環境影響評価というのは、活断層含めての事になるんですか。

天理市：活断層は無いです。この施設は、ここに建ってどういう環境に影響という・・・大気とか、水とか。

檜 町：活断層が走っているとか、これだけの立派な施設、大きな税金使って造る訳ですけども、東南海地震、可能性凄く大きいと言われてます。この地震あった場合、この施設が破損する可能性というのは、少なからず無いとは言えないですね。一般であれば我々家を建てる場合、活断層が近くにある所に家を建てますか。

天理市：この図を見て頂きたいんですが・・・。

檜 町：図は図でしょ。自然災害というのは、どういうふうな形で発生するか分からない。

天理市：それが一番可能性でいくと、天理の盆地の部分は、何処も建てられない。それがむしろ震度6弱以上の地震はここより、今のクリーンセンター含めた所の方が、より可能性が高いというふうに研究されています。

檜 町：それは研究であって、実際起きてみないと分からないという事です。活断層の所に普通、家建てますか・・・。

天理市：多くの所は建っている訳です。もう一度活断層の図を持って参りますが・・・。

檜 町：活断層の調査、一生懸命やって、稼動するかどうかという形になって来ると。

天理市：ちょっと、原発とね・・・。

檜 町：しかし活断層というところ、大きくクローズアップされる訳です。その活断層走っている近辺に、これだけの大きな税金投資して、建てて潰れたらどうなるの、地震が揺ってね。この大きく破損した場合、市町村の方のごみが収集できないという事です。もっと安全な所ないんですか。

天理市：活断層の上という事、別にして、今立てようとしている所の方が、平坦より・・・構造的に6から7の耐震で基本的に、起こっても軽い修理でいけるような設計にしていますので・・・。それが、国交省から基準として求められている施設です。

檜 町：しかし活断層走っているのが分かりつつ、そういう所へ普通建てますか。

天理市：要は10数キロ以上、離れている所より近い所については・・・。

檜 町：そしたら、下の方がもっと安全じゃないか。リサイクルするという所の方が・・・。

天理市：いや同じ扱いなんです。

檜 町：いやこの図面から見たら、マシ違うんですか。焼却場の施設候補地、これ本当に危ない色ですね。これリサイクルの方は、離れて来るんですね。先程の話であれば、こっちの方が安全だと、言わはるんです。そういうふうを考えて行くのが普通かなと。

天理市：地震が起きる可能性が、市内の中でそこが圧倒的に高いという事になれば、初めから交渉するという事は、税金の無駄使いでもありますし、むしろ他の地域よりも大きな揺れが起きるのは低いというふうになっている訳なので・・・。

檜 町：このリサイクルの方が、距離離れているんじゃないか。

天理市：後、地盤とか全般を見ながら、実際これからちゃんとどういった図面、免震構造という事を作ったものをお示しして行くんですが、耐震性がないと建物建てられない。それと共に、先程から汚染の事仰られて、原発がという事なんです、何故国の扱いが違うかという事ですが、原発施設は何かちょっとでもあった場合に、致命的な放射能という汚染物質が出てしまうから、そういった活断層の細かい所まで、全部チェックをしないと建てられない施設だと、稼動すらできない・・・。

檜 町：それは言われる通りだと思うんです。ただしかし、これだけの大きな金額使って建てる訳ですよ。そしたら、もっと安全な場所というのが、余りにも隣接し過ぎていないか。

天理市：そうすると、正に嘉幡の施設というのは、今回の施設より可能性が高いという事・・・。

檜 町：色だけ見ればね。

天理市：かつ、実際・・・。

檜 町：これ実際起こってみないと分からないでしょ。これはもう、間違いないんですか。

天理市：それが出来れば、日本の・・・。

檜 町：・・・活断層走っている直近でね、そういう建物を、私だったら家建てません。

天理市：やはり今の科学技術の中で、出来る範囲での検証という事になりますので、それでいくと、これから更に議論を深めていって、それを皆さんに提示させて頂いて、もし地震が起きる可能性が高い所は、よりダメという選択肢を採っていけば、今の嘉幡町の施設であるとか、他の盆地の所の方が、この候補地の方が適さないという判断に向かっていくと。

檜 町：なるんですか。それは言えるんですか。

天理市：それは大きな揺れに見舞われる蓋然性がより高いから。

檜 町：推定ですよ、あくまでも、推論ですね。

天理市：ですから地震については、推定意外の事出来るのは・・・。

檜 町：だから活断層ある所、外していくんでしょ・・・。やはりリスクは軽くしようと、そうして建てて行くんですよ。

天理市：クリーンセンターについては、国からの認定であるとか、県との協議において、そういう事は、求められておりません。

檜 町：求めてない。

天理市：原発でない、根本的に施設の性質だったり、何かあった場合の汚染だったり、扱いがまるで違うと。

檜 町：しかしそれは何かあった時、住民の立場に立った時に、何が流れてくるかわからない・・・原発と違うと言われても・・・。

天理市：そこについては、距離、地盤とかを具体的に資料そろえて行かないと・・・。

檜 町：もっと色々な角度で検討加えて、活断層についてもそうだけど、検討してそこがほんとに立地として正しいのか、これだけの百何十億というお金掛けて建てるんですから、ここしかダメだという考えではなく、もう少し考えてやって行くのが本来かなと。

天理市：そこで見ると、市内・・・。

檜 町：・・・考えたからそうなるんで、もっと理論的に考えて・・・。

天理市：その通りだと思います。それを実現出来る場所が他にもあるのであれば、それも1つの方法だと思います。天理の中で、活断層から20キロ以上離れている所があれば、又50キロ、60キロと離れて所があると、他の東縁断層帯以外も含めて50、60キロと距離が取れる場所あるんじゃないかなれば、又話は違ってくると思います。基本的に東西十数キロというのは、市全域をカバーする際になってきますので、そうすると、実際の地盤が固いかどうか、そこに構造物が建てられるのかどうか・・・。

檜 町：私ら一般的に考えたら、活断層の所へ建てないという考えです。だからそれを理論的に説明を・・・。

天理市：受け売りになりますが、活断層走っている地域というのは、良い水が出る場所だというふうに・・・。

檜 町：私も一般的に考えて、活断層の所に自分の家建てますか。

天理市：活断層という言葉が、何か東日本の震災から、地雷源みたいな印象になってしまっている。日本の中には相当に数の活断層が走っている中で、少し前は、地下水系綺麗で良い水が出るから、酒処というのは、活断層ギリギリなんですけども・・・。

檜 町：我々一般とすれば活断層上に、あるいは近くにそんな大きな金額をかけて建物を建てて、バカなものかなと、その辺説明を詳しくして頂いたらと思います。もう一点・・・。

天理市：今後、私の言っている事が違えば、恐らく専門家の方も、自分が監修したと名前を貸さなかったと、今私が言わせて頂いたレベルの話というのは、前に皆様方に・・・。

檜 町：それはね、大学教授さんですか、もう2人、3人その話聞いておられますか。その人の話が正しいという・・・。

天理市：地震関係というのは・・・。

檜 町：第一人者ですか。

天理市：先ず第一人者です。

檜 町：あーそうですか。

天理市：地震に関する学者さんの中で、この人がトップというのは言いづらいですが・・・。

檜 町：又、違う意見の人が・・・。

天理市：例で言えば、NHKのスペシャルで、つい最近やっていました。地震に関する特集でした。一人だけ専門家を連れて来ていました。その時に来ていたのが彼でしたというところからすると、少なくとも今の日本の学会では、第一人者という、第一人者というのは一人では無いので、第一人者の中に入っている方です。

檜 町：我々一般に、勘違いか感覚的のものか疑問ですわ。活断層の近くに、大きな金を投じて建ててもいかなものかなと、それを広域という事、今10市町村、これ以外に無いという事。

天理市：無いです。

檜 町：そういう話ですね。例えば、今ここに建った場合、その広域化は拡大するという事は。

天理市：我々として想定しておりません。

檜 町：想定してない。それは間違いないですか。

天理市：全部で、このメンバーで議決という形です。

檜 町：うちのも混ぜていう声が上がった時に。

天理市：上がっていますけど、今までですけどね。今までの時点でスタッフもお断りしていますし、仮に加えるという事になった場合には、それは、今の自分の議会の中で、予算なり全部含めて変わってくるので、議決を得ないと、勝手に入れ込むという事は出来ない。

檜 町：議決通れば出来るという事ですね。

天理市：勿論それは・・・。

檜 町：いつの時点かという話しになって来る。

天理市：だから、炉の規模が決まれば、入って来る余地が無くなりますから・・・。

檜 町：炉を拡大すればいいじゃないですか。

天理市：炉を入れ替える。

檜 町：又、横に造ったらいじゃないですか。

天理市：・・・そんな事は、出来ません。それは、スペースからして今回の土地の横に、又何か炉を建てるとするのは、入らないです。予算的にも、補助金も貰えないし。

檜 町：いや違います。建物を建てて、その後にもうちも入れてくれないかと、炉がダメだという形になり、他の所に空き地があると、そこへ建ててね・・・。

天理市：それは、あり得ないです。・・・敷地の中に入りませんし・・・。隣の所という事ですか。

檜 町：うん、そうそう。

天理市：折角動いている160億も掛けて、候補地も含めてですけども、やって、建てて、動かして、動いているものがある横に、何故、他の所のごみを処分する為に、新しい施設を建てないといけないかとなりますと、全く・・・。



檜 町：いや、それを入れれば、市の財政も軽減されるんじゃないか。

天理市：いや、1度建てれば・・・。

檜 町：それは、10市町村で賄うんでしょ。

天理市：毎年建替えるものであれば、今回メンバーに入れるので・・・。10市町村で決めた炉を建てる訳です。新たに入って来る者に、もう1つ横へ建てるという事ですか。

檜 町：そう、そう。

天理市：そんな莫大な費用、多分補助も出ないでしょう。それは、天理市が損するだけです。何で天理市が建てないといけないのか。そんな事あり得ない。

檜 町：そういう事は無いんですか。

天理市：何故天理市が建てないといけないのか、理由が立たない。

檜 町：建てれば、財政的にも潤うのではないか。

天理市：いや、建設費用が結構掛かりますし、1つのシステムを使ってやっているから、財政費用とかも、その他運搬、運用コストが安くなるだけであって、もう1つ建てたら、管理部門から動かす色んなものまで、全部倍の体制を組まないといけない訳で、仮に運転管理コストがちょっとやそっと安くなっても、とてもじゃないですが、その建設をし、運転をするという仕様には追いつきません。

檜 町：それは、県がバックアップして・・・。

天理市：基本的に県は、ごみ処理施設というのは市の施設であって、県はあくまでもお助けするだけなので・・・するというのはあり得ない。県が命令をするというようなものではないので、今回は10もの市町村でやれた。奈良県の市町村が、財政も苦しい中で、それは助かるし、環境負荷から言っても、是非頑張れと、県費を投じようとなっているが、そこに全く新しい炉の施設を建てようという事はまるで・・・29日に一般の皆さんが行かれるのに当たって、先に主だった方が下見された上で29日行くと、又、小学校、中学校PTAの皆さんの関心は、又別だったりするので、自分達は別に行くと言ったので別に組みます。どういう形であれ、行って頂く方が増えた方が、どのような施設を造るのか、ここが足りる、足りないという話しをする上でも、噛み合った議論をする為に行って頂きたいという事ですので、そこは又、相談していければと思います。

檜 町：六総の区長は、2回行く訳ですね。

天理市：そうです。区長さんは2回目になります。

檜 町：これは、大規模にして、天理の経済的な事考えてという事が分かりました。しかし先程出ていたように、福住の事、一番最初ここへ来てもらった時に、私がそれに対して質問しました。あの時は、天理市の持ち腐れ、塩漬けになった土地があるのに何故使わないのかと質問した時に、あそこは太陽光発電、ソーラーの事で契約出来ているんだと仰いました。しかし、経済的に考えるんだったら、あそこは天理市の市有地で、他は天理教とか岩屋町が持っている土地で、借りるか、買い取るかなり、かなりの金が掛かります。そういう経済的な事考えれば、もう一度福住の事考えて、私がいつもあそこへ行きますと、やはり立派な道路も出来ているし、大分平地になって開けております。未開発な所少しありますけど、ああいう所利用していただければ、活断層から少し遠いと思うし、経済的にもいいと思いますので、今こういうふうに一度変更されたんですが、もう一度変更の余地も考えて頂いて、最終的には、考えて頂いてからと期待しております。

天理市：グリーンテクノは、契約してその事業する事により、事業者が自分自身の予算で工事をやっている最中で・・・。

檜 町：もうやっているんですか。

天理市：ずーっとやっています。ただ太陽光パネルなんで、建物を建てるという状況じゃなく、パネルを建てる最低限の造成をやっている状況です。

檜 町：太陽光の施設、迷惑施設では無いので、何処でも建てやすいですね。天理市が少しくらいの賠償をしてやって頂けたらと、経済的な事考えたらと思うんです。

天理市：経済的には今のところ、借りるにしても、買うにしても、あくまで鑑定を取った金額なので、そんなもの凄いい金額にはならない上に、それは10市町村で分担しますので、個人からすれば大きな金額になるが、市の予算上それが財政圧迫するような、知見の金額にはならない。むしろ上にあげて行く時に輸送コストで掛かる費用の方が地代より遥かに上回る程度ですし、今区長様が仰って頂いた所は、契約して工事も入っている状況で、これは仮に裁判をやって、返せと言っても、どうしても通らないです。

檜 町：それではどうもありがとうございました。

以 上